

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日 13:00～14:00

会長 藤谷 猛

例会場 ANA クラウンプラザ
グランコートホテル名古屋

幹事 深見 礼子

承認 2013年6月18日

公共イメージ
向上 岩崎 幸弘



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度名古屋アイリスRCのテーマ

共に活動し、共に奉仕し、
共に頑張るアイリス

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第206回 例会

2017年11月8日 13:00

- 司 会：須賀祐介 例会運営・司会委員
- 斉 唱：君が代 奉仕の理想
- 出席報告：出席者数 23名 / 会員数 42名
出席率 54.7%
- ゲ ス ト：特別代表 浦野三男様
地区財団委員会 副委員長
佐々木久直 様
- ビジター：

ニコボックス

- 本日は例会の貴重なお時間を11月財団月刊の卓話に頂きありがとうございます。よろしくお願ひします(佐々木久直 地区財団委員会 副委員長)
 - 本日はお世話になります。立冬も過ぎまして段々寒くなりますので、お互い健康に留意して精進しましょう(浦野三男特別代表)
 - 財団副委員長佐々木様ようこそアイリスへ！！本日は卓話をよろしくお願いいたします。(藤谷会長)
 - 冷たい雨が降って来ましたが、トランプさんも色々話題を提供して帰られましたが、日本国もかなり高い買い物をしたそうです。それにしてもイヴァンカさんは綺麗でしたネ(安井忠クラブ戦略委員長)
 - 10月の親睦例会、平日のお昼間お忙しい時間にもかかわらず多数の出席賜り、誠にありがとうございました。引き続きおいしいおせち料理、絶賛受付中でございます。宜しくお願ひ申し上げます。(須賀祐介さん)
- ニコボックス合計 8,000円

会長挨拶

みなさん、こんにちは。

11月はロータリー財団月間です。本日は、地区ロータリー財団委員会 副委員長であられる佐々木久直様にお越しいただきました。後ほど『ロータリー財団次の100年に向けて』というテーマで卓話をいただきます。佐々木様、何卒よろしくお願い致します。

さて、今年度の会員増強は、三木会員増強委員長のもと10名という大きな目標を掲げて頑張っております。

5か月目に入った現在、本年度、5人目の入会者をお迎えすることが出来ました。そして、また新たに、もう1名の入会者をお迎えしようとしております。昨年度38名であった会員数が44名となります。これも一重に会員増強委員の皆様、会員の皆様のお陰であり、心より感謝申し上げます。

しかし、会員は増えても中身が伴わなければ本末転倒であります。この名古屋アイリスロータリークラブは、設立から4年を過ぎ、5年目を迎えております。ほとんどの会員がチャーターメンバーであり、ゼロからロ



ータリーを学びながら実践している最中です。私たちが、しなくてはならない事は山積みです。これだけの人数になってきました。何をやるにしてもクラブ運営は簡単ではありません。誰かがやってくれるという考えは、もはや許されないのではないのでしょうか。安定し、安心できるクラブ運営があってこそロータリーの5大奉仕が実現できるのです。それには、会員自身のロータリアンとしての自覚と奉仕を理解し実現する心が必要なのです。

親睦で始まったロータリークラブも自己から自他へと心の向きを変え、大きな葛藤の末、奉仕へと向かいました。

そのロータリーの5大奉仕ですが、実は1927年のオステンド国際大会では、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」の3部門(3大奉仕)でした。ところが、翌年の1928年ミネアポリス国際大会で「国際奉仕」が追

加され、4 大奉仕部門となったのです。最初から「4 大奉仕部門」として確立していたのではなく、3 部門から 4 部門になったこと、そして、もともとクラブ運営上の分類・枠組みであったことを考えれば、ロータリーの発展や変化に合わせて、その枠組みが変わっていても何のふしぎもありません。

さらに 2010 年の規定審議会では「青少年(新世代)奉仕」が第 5 の部門として加わり、現在の「5 大奉仕部門」となったわけです。

ロータリー活動の基本は優秀な職業人であるロータリアンが、毎週一回例会に出席してロータリーの哲学である奉仕の心を学び、それを通して親睦を深め、それによってさらに、奉仕の心を深め、充実させていくところにあります。

奉仕には資金も必要となってきます。世界に 35,000 あるクラブは、発展途上国にきれいな水をもたらす、平和活動に携わる人材を育成するなど、世界中で持続可能な影響をもたらしています。ポリオ撲滅活動においても、予防接種活動を通じて発症数を世界で 99.9%減少させてきました。

ロータリー財団は、会員からの寄付を世界各地での奉仕活動に役立て、支えているのです。ロータリー財団月間にあたり、これらを心に留めておいて頂ければ幸いです。

会長挨拶を終わります。

ありがとうございました。

■ 幹事報告

深見礼子幹事より報告がありました。

新入会員についての案内がありました。

■ 卓話

佐々木久直 地区財団委員会 副委員長



「ロータリー財団これからの100年を目指して」

本日は、貴重な例会のお時間を、財団委員会に卓話をご依頼いただき感謝申し上げます。私は地区財団委員会の副委員長を拝命しております佐々木久直と申します。一宮RC所属です。本日は『ロータリー財団これからの100年を目指して』と題して卓話をさせていただきます。

まずもって、前年度、名古屋アイリスRC様におかれましてはロータリー財団設立 100 周年の年に、地区寄付総額が6,840ドル、年次基金寄付は一人頭184.86ドルと、多くの浄財をいただきありがとうございます。お陰様を持ちまして、年次基金寄付は一人当たり185.6ドルと、目標の180ドルをクリアーでき、地区寄付総額は1,042,334.99ドルと、初めて100万ドルを超え前年比125%となりました。180ドルが越えたクラブが40クラブを超えたのも初めてではないでしょうか。皆様ありがとうございました。3年後が楽しみです。

年次寄付は3年後にシェアシステムで地区事業資金として戻ってきます。シェアシステムとは、年次基金と恒久基金の利息の合計金額の半分が地区活動資金(DDF)に、残りは国際活動資金(WF)に50%ずつ分けられます。DDFの半分(25%)が地区補助金(DG)とグローバル補助金(GG)に分けられる仕組みとなっております。これは各クラブが行いたい人道的支援活動を中心とした資金に使うことができます。そのための年次寄付のお願いをしていることをぜひご理解ください。またそれを地域に生かすことがロータリアンの使命でもあります。

地区財団委員会には5つの委員会があります。①資金管理委員会は、クラブとのMOUや補助金を使った事業での報告に関する内容の妥当性を監視しています。②資金推進委員会は、人道的支援を含めた支援活動に必要な資金を提供すべくその活動資金をお願いする委員会です。③補助金委員会は、地区補助金とグローバル補助金の申請から報告までのサポートを受け持ちます。④ポリオプラス・VTT委員会は、2つの委員会から構成されます。ポリオプラスは、エンドポリオに向けたアドボカシー支援とWFFなどの活動でファンディングを行っています。VTTは当地区未来の夢計画以降、毎年医療関連の支援事業を継続して行っています。⑤奨学基金・平和フェロシップ委員会は、グローバルを使った奨学生の募集から面接、申請の支援から帰国後の交流まで平和フェロ同様つながりがロータリアンにも多くの影響を与えることです。

さて、ロータリー財団は 101 年目を迎えどうあるべきでしょうか？財団の使命としては、①ポリオ撲滅の約束を果たす。②年次基金と恒久基金への理解を深める。③ロータリーファミリーの活動を支援する。④

MY ROTARY への認識及び登録を促す。となっています。

ロータリー財団は101年目を迎え新たな所に来ています。お金を集めることが財団の目的ではなく、「世界でよいことをする」ための貯金です。今年は年次寄付の一人当たり150ドルと、ポリオ撲滅のための一人当たり30ドルの支援です。世界の約122万人のメンバーと共に、多くの助けを必要としている「人を笑顔にする！」それがロータリーです。ご清聴ありがとうございました。